

A&F・Aviation に産業革新機構が資本参加

日本初の本格的 LCC 航空会社である A&F・Aviation 株式会社（以下 A&F・Aviation、社長：井上慎一、住所：東京都港区東新橋）に、本日、株式会社産業革新機構（以下 INCJ、社長：能見公一、住所：東京都千代田区丸の内）が資本参加いたしました。

INCJ は A&F・Aviation の株式を 33.3%（1000 万円）取得したことを皮切りに、社外取締役を派遣するなど戦略策定にも参画していきます。A&F・Aviation は 2011 年度中の就航前までに最大で約 150 億円の増資を予定しており、INCJ は必要な範囲で追加的に資金提供を検討して参ります。

（3月31日時点の出資比率 全日本空輸 33.4% ファーストイースタン 33.3% 産業革新機構 33.3%）

A&F・Aviation は、INCJ からの資金及び経営面でのサポートにより、就航に向けた準備を一層本格化し、日本及びアジアでの文化、経済の活性化に貢献して参ります。

A&F・Aviation 株式会社について

A&F・Aviation は、日本で初めての本格的 LCC 航空会社として、2011 年 2 月に発足。関西国際空港を拠点として、2011 年度下期の就航開始を計画しています。

A&F・Aviation は、日本を含む東アジア域内に新たな航空ネットワークを創造します。具体的には、安全を大前提として、これまでの航空とは異なる仕組みを通じて安定的な低コスト体制を実現、常識を覆す圧倒的な低運賃を提供、航空における新たな価値・選択肢を生み出し、成長著しいアジア市場の需要を開拓することで、アジアと日本の新たな架け橋を目指します。

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額 8000 億円超の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。INCJ では、これまでに合計 12 件・総額約 520 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス・原子力発電等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

（報道関係者お問い合わせ先）

A&F・Aviation 株式会社 広報担当	株式会社産業革新機構
浅見・安達（エデルマン・ジャパン株式会社）	企画調整室 中井・梶
Tel: 03-6858-7726/7731	Tel : 03-5218-7200（大代表）

～日本初の本格的LCC(Low Cost Carrier)への投資～

株式会社

産業革新機構

【案件の概要】

日本初のLCCであるA&F・Aviation(株)への投資により、徹底した低コストオペレーションを基軸として航空業界の需要の喚起を目指す

【案件の意義(投資インパクト)】

- 全日本空輸の高品質な運航ノウハウを活用しつつ、欧米LCC事業経験者の採用を通じた先進LCCのノウハウの取り込み、共同出資者であるFirst Easternを通じた中国人訪日需要の取り込みなど、国境を越えた「オープン・イノベーション」を実現し、航空旅客需要を喚起
- 中国・韓国・台湾からのInbound/Outboundの新規旅客需要の開拓により、政府の掲げる「新成長戦略」の一つである「観光立国の推進」、及び「クールジャパン」戦略へ寄与

【INCJの役割】

- 新しいビジネスモデルでスタートアップするA&Fに対し、長期的なPatient Equityを提供。あわせて社外取締役を派遣
- 航空業界における革新的ビジネスの実践を資金・経営面から後押し
- 一定期間を経てA&Fの事業が安定した後に、異業種や関西地元企業等へ株式を譲渡することなどにより、A&Fのビジネスモデルの拡大や関西経済圏との連携を支援

ANA

FIRST EASTERN

株式会社 産業革新機構

1005万円出資
(2011年2月)

安全なフライトのための
整備・運航ノウハウの提供

1000万円出資
(2011年2月)

中国現地パートナーとの
提携支援

1000万円出資
(2011年3月)













社外取締役派遣
による経営支援

A&F Aviation

(エーアンドエフ・アビエーション)

- LCCとは、サービスの削減・有料化等により収支構造を変革し、低価格運賃を実現することで新規需要を掘り起こす、新たなビジネスモデル
 - アジア内の交流の拡大から、アジアの航空需要は急速に拡大
 - 特にLCCについては、アジアのLCCシェア(18%)は欧米(30%)と比して低く、成長余地大
- LCCに必要な取組
 - 徹底したローコスト運営(細かい工夫の積み重ね)
 - 最適なルート選択
 - 多様なサービスと組み合わせた革新的サービスの追求
 - 従来のやり方にとらわれない経営

当面の投資の方向性

投資セグメント 事業 ステージ	エレクトロニクス・IT (環境エネルギー関連など)	バイオ・ ライフサイエンス	インフラ系 (水・鉄道・原子力など)	その他
知財 ファンド	知財ファンド 複数のテーマ・領域ごとに知財ファンドを組成・支援することを検討中。	ライフサイエンス 知財ファンド「LSIP」 (ハイオマーカー・ES/幹細胞・がん・アルツハイマー)		
ベンチャー 企業等	次世代エレクトロニクス技術ベンチャー  (フラッシュメモリ)	材料加工 工具  中村超硬 (ダイヤモンド・ソーワイヤー)	バイオベンチャー (創薬以外)	革新的航空サービス(LCC) 
	環境エネルギー技術ベンチャー  ゼファー株式会社 (小型風力発電機)	バイオベンチャー(創薬)  (抗がん剤DDS)	水ビジネスのグローバル展開  東京都 (相互協力協定)	
事業の 再編・統合	環境エネルギー技術の切り出しベンチャー  ALPS アルプス・グリーンデバイス株式会社 (電源コア・電流センサ)	製薬メーカーの研究開発パイプラインの切出し	豪州水事業  三菱商事  日揮	分析機器  (NMR)
	エレクトロニクス・IT、環境・エネルギー関連のグローバル展開  NI 日本インター株式会社 (パワーデバイス)		鉄道・原子力ビジネスのグローバル展開体制の構築  国際原子力開発	

オープンイノベーション・プラットフォーム
 イノベーション・デザインラボ KKフォーラム ローマの市場にて

外部ネットワーキング


KAUFFMAN FELLOWS PROGRAM
 AT THE CENTER FOR VENTURE EDUCATION



事業化人材発掘・派遣プログラムの構築